

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

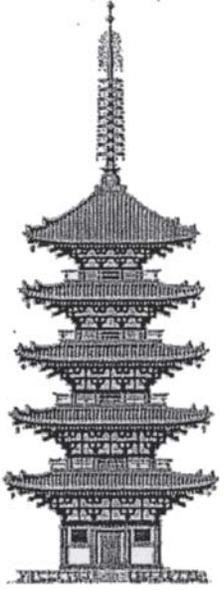
皆さん、あけましておめでと  
ございませう。今年も紙上遍路の  
わら版。残すは三十五ヶ寺。頑張  
って打ち通しましょう。では出発。

## ★火伏せ不動尊

五十三番から約三十四・五キロ  
メートル、五十四番は近見山(ち  
かみざん)延命寺。  
山号の近見山は実際に今治市内  
にある山。標高二四四メートルで  
す。

行基和尚開基、嵯峨天皇勅願で、  
お大師様が再興したと言われる延  
命寺。当初は山頂にありましたが、  
再三火に見舞われ移転。天正年  
間に現在の山麓に落ち着きました。  
ご本尊は宝冠をかぶった珍しい  
不動明王。再三火災から逃れてい  
ることから火伏せ不動尊と呼ばれ  
ています。

当初は円明寺(えんめいじ)が  
寺号でしたが、五十三番の円明寺  
(えんみやうじ)と同名異音で紛



四国八十八ヶ所霊場マップ(五十四番から、五十七番)



## ★大通智勝如来

五十四番から約三・七キロメー

らわしいため、江戸時代に俗称と  
して延命寺が定着。明治時代以降  
に正式に延命寺となりました。  
山門はもともと今治城の城門。  
明治時代の城取壊しの際に移築さ  
れたそうです。

トル、五十五番は別宮山(べっく  
さん)南光坊(なんこうぼう)。四  
国霊場のうち、寺号に「坊」がつ  
くのはここだけ。  
ご本尊も珍しい大通智勝(だい  
つうちしょう)如来。もちろん四  
国霊場で唯一です。

この如来は法華経の化城喻品(け  
じょうゆほん)に登場する仏で、お  
釈迦様のお師匠さんと言われてい  
ます。

伊予水軍の祖、越智玉澄(たま  
ずみ)公が文武天皇の勅願を受け  
て大三島(おおみしま)という場  
所に大山積(おおやまづみ)明神  
を勧請し、大山祇(おおやまづみ)  
神社を建立。その際に建てた法楽  
所が始まりです。

渡海しての参拝が不便なことか  
ら、ほどなく現在地に移設されま  
した。  
この地を拠点とした村上水軍、河  
野水軍にも信仰されたそうです。

## ★土砂加持

五十五番から約三・二キロメー  
トル、五十六番は金輪山(きんり  
んざん)泰山寺(たいさんじ)で  
す。

この地を流れる蒼杜川(そうじ  
やがわ)は、度々氾濫して多くの  
人命を奪うことから、別名人取川  
(ひととりがわ)と呼ばれ、悪霊  
の仕業と恐れられていました。

この地を訪れたお大師様は土砂  
加持(どしゃかじ)を七座にわた  
って修法し満願。  
お大師様は不忘(わすれず)の

松を植え、地藏菩薩を彫って本尊  
とし、泰山寺と命名。  
寺号は、延命地藏経の十大願の  
第一、女人泰産からとったと伝え  
られています。

## ★伊予の石清水八幡宮

五十六番から約三キロメートル、  
五十七番は府頭山(ふとうざん)栄  
福寺。  
府頭山(八幡山)を目指して田  
圃道を進むと、山麓から急な参道  
になります。正面に進むと八幡宮、  
途中から右に折れると栄福寺の境  
内に入ります。

古来この近海では海難事故が絶  
えず、お大師様が巡錫した折に海  
神供養の護摩供を修法。感得した  
阿弥陀如来をご本尊として奉安し  
ました。

平安時代初期に行教(ぎょうきよ  
う)上人が府頭山の山容が京都石  
清水八幡のある男山と酷似してい  
ることに気づき、神仏合体の宮を  
創建。以来、栄福寺は神仏合体の  
勝岡八幡宮、伊予の石清水八幡宮  
として親しまれてきました。明  
治時代の神仏分離令によって寺社  
が独立。現在の配置となりました。

## ★お加持の井戸

さて、来月も今治市内の札所が  
続きます。境内から今治市街、瀬  
戸内海の島々、しまなみ海道が一  
望でき、諸病を救ったお加持の井  
戸を擁する五十八番からです。乞  
ご期待。

